

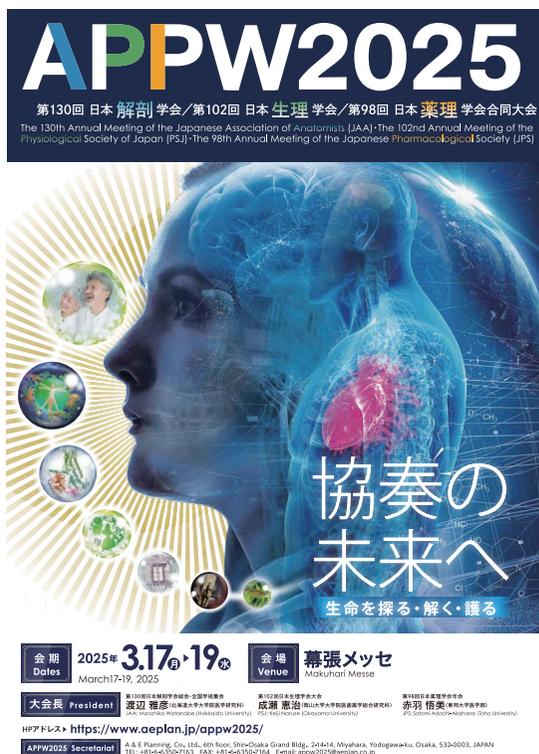
【第10回】

日本生理学会 新たなころみ 第102回大会 (3学会合同, APPW2025) 大会長として

日本生理学会・副理事長(財務担当)
岡山大学学術研究院医歯薬学域学域長
岡山大学医学部システム生理学教授
成瀬 恵治

日本生理学会第100回記念大会(2023年3月14~16日, 京都国際会館)が成功裏に終わり, 次の100年に向けての第一歩である第101回大会(2024年3月28~30日, 北九州国際会議場)を上田産業医科大学学長が大会長として開催されます。それに引き続き第102回大会(2025年3月17~19日, 幕張メッセ)の大会長を務めさせていただきます。

第102回大会は日本解剖学会, 日本薬理学会との初めての3学会合同大会です。英語名をAnatomy-Physiology-Pharmacology Week in 2025, 略称APPW2025としました。掲げる大会テーマは、「協奏の未来へ~生命を探る・解く・護る~」です。3学会を核とした学際的な協奏により, 細胞や臓器の協奏による個体の恒常性維持のしくみ, さらに個体と環境の協奏による生命の多様性と持続可能性を探求し, 健康な未来社会の実現を目指そうとする思いを込めています。石川義弘生理学会理事長(横浜市立大学)が, アメリカのFASEBのような多数の基礎医学系学会の合同大会を日本でも開催できないかと発案し, コロナ禍が全国に拡大した2020年に解剖学会の八木沼洋行理事長(福島県立医科大学)と薬理学会の谷内一彦理事長(東北大学)に呼びかけたことに始まります。この合同大会を一発の打ち上げ花火として終わるのではなく, その後も継続的かつ発展的に, 基礎医学領域における研究教育力を向上発展させ, それを支える若手人材育成の活気ある場にしていきたいと思います。私自身も医学部生の頃から伊藤文雄名古屋大学名誉教授の元でメカノトランスダクションの研究を始めました。1986年第63回山形大会では学生の方際で参加・発表の機会を得ることができ, 生理学研究の面白さに取りつかれ生理



APPW2025
第130回 日本解剖学会/第102回 日本生理学会/第98回 日本薬理学会合同大会
The 130th Annual Meeting of the Japanese Association of Anatomists (JAA)-The 102nd Annual Meeting of the Physiological Society of Japan (PSJ)-The 98th Annual Meeting of the Japanese Pharmacological Society (JPS)

会期 2025年 3.17-19日
Dates March 17-19, 2025

会場 幕張メッセ
Venue Makuhari Messe

大会長 President
渡辺 雅彦 (福島県立医科大学) 成瀬 恵治 (岡山大学) 赤羽 精美 (神戸大学)

HPアドレス: <https://www.aeplan.jp/appw2025/>

APPW2025 Secretariat
A & E Planning, Co., Ltd., 6th floor, Site-Osaka Grand Bldg., 2-14-16, Wiyahara, Yodogawa-ku, Osaka, 532-0003, JAPAN
TEL: +81-6-6350-7163 FAX: +81-6-6350-7164 E-mail: appw2025@aeplan.co.jp

学会会員になりました。ほぼ40年間, 生理学にかかわってきましたが若い世代に生理学の面白さを伝えることができればと思います。

第102回大会にて皆様とお会いできますことを心待ちにしています。どうぞご参加のほどよろしくお願い申し上げます。